

いよいよスタートした米沢ブランディング活動では、活動コンセプトを言葉としてシンボル化・ロゴ化したブランドスローガンや、身近な場所で市民の皆さんに活動への参加を呼びかけるポスター用のメッセージなど、目的や媒体・掲出場所に合わせて、いくつかのコピー・メッセージを使用しています。以下に、それぞれのメッセージの狙いをご紹介します。



ポスター A

ポスター B

## ●挑戦と創造のあかし 米沢品質

[展開素材] ポスター A ほか全制作物共通 (ブランド・スローガン)

[企画意図] 鷹山公の「なせばなる」の精神を凝縮したキーワード“挑戦”と“創造”と、新しくめざす米沢のすべてのモノ・コトの基準の高さを表現した「米沢品質」という言葉をしっかり結びつけ、印象づけることを狙いました。

## ●米沢の未来は、米沢を愛するものにしかつukれない。

[展開素材] ポスター B

[企画意図] ブランディングの核となる「市民の自主的な参加と行動による挑戦と創造」の実現をめざして、一人一人の心の中にある“米沢愛”に気付いていただき、活動に共感して参加いただくことを促せる表現としました。



## ●挑戦と創造で、次の米沢へ。

[展開素材] 横断幕 (市役所庁舎)

[企画意図] 市役所庁舎に直接掲げる横断幕用、しかも長期間の掲出が前提だったので、核となるキーワード「挑戦と創造」と、活動のゴールである「米沢の未来」だけに意味をしぼり、市庁舎の前を通るたびに、市の意志のように端的に目に飛び込んでくる言葉としました。



## ●米沢だからできるモノを、米沢にしかできないコトを。

[展開素材] 横断幕 (道の駅米沢)

[企画意図] 主に県外からの観光客が対象となる道の駅米沢内のポスターのため、「いま米沢では、米沢で生まれるモノやコトの品質を高める新しい活動が始まっている」ことだけを知らせる間口の広い表現としながら、同時に売りの場での米沢物産の販売にも間接的に貢献できるメッセージ表現も狙いました。